

竜舌蘭



学校だより
6月号
喜界町立早町小学校
令和7年6月26日発行

校長 西島 常德

夏に負けない

6月19日、気象庁から奄美地方は梅雨明けをしたとみられるとの発表がありました。平年より3日早く、梅雨期の総雨量は平年の5、6割であったようです。学校では、子供たちが心待ちにしていた水泳授業が始まりました。今後、本格的な夏に向け、猛暑と水不足が懸念されます

学校では児童の命の安全を守るため、熱中症対策として、子供たちにこまめな水分補給、クーラーの使用、屋外の活動の制限、帽子の着用等を指導しています。

暑熱順化をご存じでしょうか？一言で説明すると「体が暑さに慣れる」ことです。暑い日が続くと、体は次第に暑さに慣れて、暑さに強くなります。私たちの不思議な体の仕組みです。私たちの生活を取り巻く環境を改善したり、体を保護したりすることも必要なことですが、自分の健康状況を把握し、体を徐々に暑さに慣らしていくことも大事です。しかし体が未発達な子供たちに「暑熱順化」は細心の注意が必要とされます。

校訓に「かしこく」「やさしく」「たくましく」です。子供たちには、これから迎える変化の著しい世の中をたくましく（心・学力・健康）生きる力を身に付けてもらいたいと考えています。

学校でつけた親（先祖・先人）の愛情

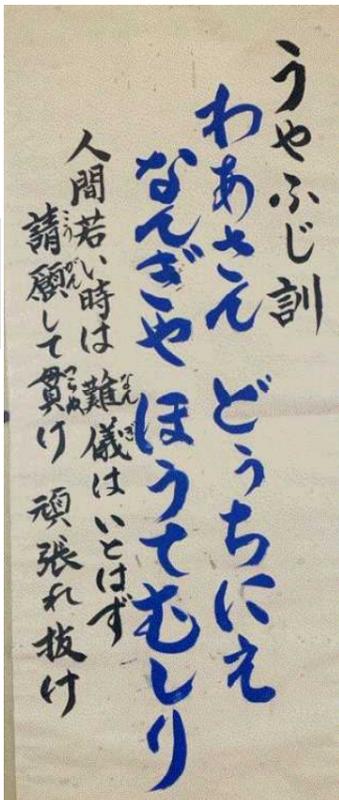
学校の2階に続く階段を上ると、真っ先に目に飛び込んでくるのが、うやふじ（先人、先祖）訓です。いつごろからの掲示物か分かりませんが、おそらく旧早町中時代から、引き継がれて掲示されているものと思われます。

わあさん（若い） どうちにえ（時には）
なんぎや（苦勞や難儀は） ほうてむ（買ってでも）
しり（しなさい）

これは未来に向かう今の若者たちへの激励の言葉であり、最近では少なくなりましたが、奄美の学校では各土地の方言に変換され、掲示物として見かけることができます。

実際、このように言われたら、どんな思いがしますか。早町小の子供たちの学級は全て2階にありますので、登校後に階段を上ると、必ずこの言葉を見ることとなります。私は2階に上がるたびに、うやふじが私たちに伝え続けていることはなんだろうかと考えます。

信頼関係のない人にこのようなことを言うことは、まずありません。現代ではパワハラになりそうな強い強制的な教えです。しかし、「世の中ではやるべきことがあります、消極的に取り組むか、積極的に取り組むかによって、あなたの結果は変わるんだよ。」と親が子を諭す姿が想像されます。学校に通う子供の将来を見据え、厳しくも温かい愛情のこもった教訓だと理解しています。



日	曜	行事
1	火	PTA朝の登校指導 学校訪問（町教育委員会）
2	水	集団宿泊学習（5・6年）：奄美少年自然の家（～3日）
4	金	集団宿泊学習休養措置日
7	月	水泳自由参観（～11日）
10	木	水難事故・交通事故防止会議（本校）
11	金	教育相談（14日～16日）
12	土	第3回土曜授業 地下ダム見学（5・6年）
15	火	PTA朝の登校指導
18	金	終業式 愛のパトロール
21	月	（祝）海の日

家庭教育学級・学校保健委員会

6月6日（金）に「家庭教育学級」と「学校保健委員会」を開催しました。

家庭教育学級では、町人権擁護委員の安藤先生と西野先生をお招きして、子供の人権尊重を中心に学習しました。近年、ネグレクトや児童虐待といったニュースを見聞きします。子供一人一人の人権を尊重した子育ての大切さについて、じっくりと考える機会となりました。



また、学校保健委員会では、喜界消防分署の皆さんから「心肺蘇生法（AEDの使用法含む）」について教わりました。これから、子供たちも海で遊ぶ機会が増えてくると思います。もしもの時に命を救うための大切な講習会となりました。

当日は、授業参観から引き続いての「家庭教育学級」「学校保健委員会」となり、窮屈なスケジュールでしたが、たくさんの御参加ありがとうございました。

ふれあいボランティア表彰

6月10日（火）、町社会福祉協議会の方が来校されて、「ふれあいボランティア」の表彰を行いました。毎月のふるさと美化活動などの集落行事に参加することで、スタンプが貯まっていくもので、スタンプが10個貯まると表彰されます。今回の表彰を機に、たくさんの子供たちがボランティアに取り組んでくれるようになってうれしいです。御家庭や地域でも子供たちの励ましと称賛をお願いします。



地域の方とふれ合おう

3・4年生が総合的な学習の時間で校区内にある「ひまわり苑」の皆さんと交流する活動を計画しています。6月11日（水）には、交流の事前学習でひまわり苑の職員の皆さんから、高齢者の方々との接し方や留意することなど様々なことを教えていただきました。

6月25日（水）には、子供たちが、ひまわり苑を訪問して、三味線を演奏したり、ゲームをしたりしながら、入所されている方々と交流する予定です。交流の様子は、7月号に掲載予定です。



租税教室



6月11日（水）に、喜界町役場税務課の方を講師に招いて、6年生を対象に「租税教室」を実施しました。子供たちは、社会科の授業で簡単に税金について学習していましたが、専門の方から教えていただく内容には、初めて知ること多かったです。

授業の終末には、一億円分の札束（模造品）をもたせてもらい、うれしそうな表情を見せていました。

塩道公園探検



6月11日（水）には、1年生が生活科の学習で塩道公園に探検に出かけました。

子供たちはいろいろなものに興味津々のようで、公園に着くまでの道中でも、看板や標識を見つけては、「あれはなに？」「〇〇って書いてある」と話していました。

また、交通安全教室で学習した横断歩道の渡り方も上手にできていました。

これからも学校の外での活動も安全に気を付けて楽しんでほしいと思います。

校内研修「検証授業」

6月16日（月）の校内研修で今年度一回目の「検証授業」を実施しました。今年度の研究テーマは「学習者主体の学びを実現する授業改善 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～」です。

今回の検証授業では、6年生の算数科の授業を通して、自分に合った学び方の選択や自分の学び方についての振り返りについて、子供たちの姿から検証しました。6年生の子供たちは、積極的に友達と考えを比較したり、複数の解き方を考えたりしていました。

今後は、今回の検証授業と授業研究の成果を生かして、各学級でも学習者主体の授業づくりに努めていきます。授業参観や県民週間などの機会には、ぜひ子供たちの姿を見に来てください。



プール開き（水泳学習スタート）

6月19日（木）には、「プール開き」を実施しました。今年度から雷注意報の出やすい時期を避けて、期間を1か月に集中して水泳学習に取り組ませていきます。プール開きに参加した3～6年生の子供たちは、待ちに待った水の感触を思い切り楽しんでいました。

期間を短くしたことで、1週間の水泳学習の頻度が多くなり、保護者の皆さんには御面倒をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。



幼保小交流会



6月19日（木）にのぞみ幼稚園で幼保小交流会が行われ、1年生6名が参加しました。入学してから3か月が過ぎ、すっかりお兄さん、お姉さんになった姿を園児や園の先生方に見てもらうことができ、子供たちも誇らしげに見えました。幼保小交流は年3回実施します。次は、11月の「早町っ子フェスティバル」に園児を招待します。楽しみにしててくださいね。